

第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会第7回大会計画策定（実施計画）幹事会

平成25年1月17日

14:00～16:00

県庁第32会議室

梅田参事

それでは、雪の中お疲れ様でございます。定刻となりましたので、ただいまより「第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会第7回の大会計画策定幹事会」を開催致します。私は本日司会を務めます、参事の梅田でございます。宜しくお願い致します。では、開会に当たりまして、当実行委員会の幹事長であります。農林水産部長、西山信一がご挨拶致します。

西山部長

失礼致します。幹事の皆様には、お足下が悪い中それからお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。「第64回全国植樹祭」の開催日まであと129日という事で4ヶ月とちょっとという所まで来ました。最近の動きと致しましては、式典音楽の専門委員会の方で式典の演出内容と決定をいただいております。また、みどりの少年団や司会進行役、式典のアシスタントそういう方を順次決定して練習の段階に入ってきております。また、年末には新聞報道等もされておりましたけれども、米子の商工会議所の方で看板の除幕式を行いまして、同時に東日本大震災の復興支援のプロジェクトで東北の三県から木の種子を持ち帰りまして、それを県内の学校等で育成してお返しをしていくという風な森の里親プロジェクトというのをスタートさせました。それと今月末には、知事を議長と致します庁内の実施本部の体制を立ち上げる事にしておりまして、着々と準備を進めております。本日は前回までの幹事会での意見、それから総会での中間の計画検討の意見、そういうものをふまえた修正案をお示し致しまして、今月29日に予定されております、最終の計画を決定致します総会にかける案を決定していただくという事になります。鳥取県の大会が思い出になる大会、記憶に残る大会となりますよう委員の皆様のご意見をいただきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

梅田参事

本日のご出席者は、お手元に配布しております。配席表の通りでございます。事務局の手違いでございまして、おんな山師集団代表の中野ゆかり様にもご出席いただいております。

また、鳥取環境大学の根本昌彦教授については所用により欠席でございます。また、鳥取県市長会の竹内功会長様については、鳥取市の林務水産課の植村洋巳課長さんに代理出

席をいただいております。最初に参加の皆様にご同意をお願いしておきたいと思いますが、この幹事会は原則公開としておりますので、会議のやりとりをホームページで公開致します。

ご承知いただきたいと思います。それでは、会議に入ります。今日の進行は幹事長をお願い致しますので、宜しくお願いします。

西山部長

それでは、本日の開催の趣旨の説明につきまして、改めて大北事務局長の方から説明していただきます。

大北課長

全国植樹祭課の大北と申します。宜しくお願いします。お手元の横判の資料 1 というものがあるかと思います。これを 1 ページめくっていただきまして「全国植樹祭の計画体系」という表を見ていただきたいと思います。全国植樹祭を開催するには、基本構想、基本計画、実施計画を作成しまして、主催者であります国土緑化推進機構や宮内庁へ段階的に説明する必要があります。平成 22 年度は基本構想を作成致しました。平成 23 年度は昨年 2 月 8 日に開催されました国土緑化推進機構の特別委員会で基本計画を説明し了承を得たところでございます。今年度は基本計画を基により詳細な計画となる実施計画を作成する年になります。作成は実行委員会総会に諮りながら進めていく事になりますので、事前に幹事会で議論をいただく事になります。8 月 29 日及び 11 月 8 日に幹事会を開催致しまして、ご意見を伺っております。また、11 月 9 日には総会を開催し同じくご意見をいただきました。本日はいただいた意見に対する対応方針等を中心に説明させていただきます。1 月 29 日には、第 8 回の実行委員会総会が予定されています。ここで、実施計画最終案として説明させていただきますので、本日お集まりいただいた皆様のご意見をいただきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。以上でございます。

西山部長

はい。よろしいでしょうか？そうしましたら、さっそく協議事項の方に入らせていただきたいと思います。実施計画の最終案につきまして、事務局の方から説明をして下さい。

近藤課長補佐

失礼します。全国植樹祭課、近藤です。引き続きまして、資料 1 とですね、その下の方に別紙 1 というのをお配りしております。それから、実施計画書の厚い綴りをお配りしておりますけれども、この中身が色々ところ新しい事が入っておりますけれども、それ特に重要な所をこの資料 1 の抜粋の所に載せておりますので、宜しくお願い致します。まず、別紙 1 の方を事前に確認をさせて下さい。前回の幹事会、あるいは 11 月に行いました。実行委員会総会におきまして、いただいた意見がございます。それから、8 月 29 日に開催しました。当幹事会の方でもいただいた意見につきまして「11 月の段階で検討中です」という事で報告をさせていただいた事がございます。それらに対する対応状況を一覧にまとめております。まず、上からご説明致します。「鉄道だけではなく、空港でのおもてなしが必

要ではないか？」とのご意見がありました。米子鬼太郎空港の方に、案内所を設置するという事で実施計画にその旨を改めて記載をしております。それから「県外の方が長く県内に留まるような工夫が必要ではないか？」という事で、県外招待者につきましては、午前植樹・午後植樹の希望調査を行いまして、柔軟な対応をしていきたいという風に考えております。また、当日だけではなくて、前日も視察のルートを設定しておりますし、招待状郵送の際に観光情報が提供出来るような工夫もしていきたいという風に考えております。それから「輸送するバスの駐車場でございますけれども、近くにいい物件があればそういった所を使用すればいいのではないか？」というご意見をいただいております。色々検討しましたところ、鶴田駐車場、これはとっとり花回廊からすぐ近くでございますけれども、ここに約 150 台駐車する事が可能という風に考えております。全体の約 70%が、ここで収容出来ると考えておりますので、実施計画の表記について修正を加えております。それから「県外招待者の朝の出発時間が早いのではないか？」という事がございます。県内に長く留まる様な工夫のところでもお伝え致しましたけれども、午前植樹に限定せずに希望調査を行って柔軟に対応するという方向でございますので、県外招待者の出発時間は当初 6 時を予定しておった所を 7 時という事で可能な輸送計画が立てられそうだという事で、これにつきましても修正済でございます。それから東日本震災復興支援、これは当初プロローグの中で行う予定でしたけれども、「記念式典の中で行うべきではないか？」というご意見をいただきまして、年末に共催相手でございます国土緑化推進機構に説明を致しました。説明の上、了解を得ておりますので実施計画のプログラム、今回修正した物をお示し出来るという事でございます。それから、その他でございます。前回、11 月 8 日段階で「検討中です。」とお伝えしていた案件でございます。まず、おもてなし広場の時間的な余裕が無いという事で、宿泊輸送計画を点検していただきたいという事でございましたが、これから実際の輸送のダイヤ表が出来てきますので、この中で工夫してチェック出来るような体制を取りたいなという風に考えております。それから、植樹会場から式典会場まで原則徒歩という事でございますけれども、高齢者の方、足の不自由な方の輸送について何らかの検討をすべきという事でございまして、これにつきましては、実施計画書の中に工夫して配慮しますという風な事は明記しておりますけれども、具体的には車椅子の方は移動車両を準備する方向でございますし、その他の方につきましては、車椅子を準備して添乗員等が介添えするような事で、バス単位で移動出来るような工夫を今、検討しているところでございます。それから「鳥型風船につきましては環境への影響があるのではないか？」という事でございましたけれども、生分解性の物を使った鳥型風船であるという事を実施計画書の中に記載をさせていただきました。それから、車椅子の方の席について配慮考え方を教えて欲しいという意見をいただいております。「検討中でございます」という事で 11 月に報告をしておりますが、現在考えておりますのが車椅子の方、専用スペースを一般招待者席右側前方辺りに設けるという事で、検討を進めているところでございます。この別紙 1 の内容をふまえて、資料 1 の方で説明をさせていただければと思います。特に、

前回 11 月の幹事会以降新たに加わった事など中心に説明させていただければと思います。

まず 2 ページからお願いします。2 ページ開催概要でございます。5 月 26 日決定しましたので、これも記載しますけれども、10 番に東日本大震災復興支援という事で新しく記載をしております。取り組みとしましては 2 つございまして、幹事長の挨拶にもございましたけれども、「『みどりのきずな』再生プロジェクト構想」に基づく海岸防災林の再生支援という事で、国が進めております海岸防災林の整備に使用します苗木を鳥取県が育てて、それを東北三県にお返ししようという取り組みをスタートさせております。これは、種を東北三県から譲り受けまして、それを県内のみどりの少年団、あるいは苗木生産業者の方に 1 年、2 年育てていただきまして、それを東北に返して復興活動に利用していただくと。場合によりましては、鳥取県の美鳥の大使の代表の方を東北に派遣しまして、その活動に参加というような事を計画しております。それからもう 1 つ、東日本復興支援使途限定「緑の募金」活動の展開という事でございまして、これは現在全国植樹祭の共催相手であります国土緑化推進機構が取り組んでおります東日本復興支援、それ用の限定募金を行っております。この募金に 300 円以上された方は「緑の募金」ピンバッチ、絵で言いますと左側の木製のピンバッチでございますけれども、これを 1 つ進呈されているようです。全国植樹祭当日は、この募金に対しまして 200 円につきトッキーノのピンバッチ、右側のピンバッチを 1 個進呈という風な事を考えておりまして、国土緑化推進機構は 300 円以上で 1 つという事ですけども、鳥取県のトッキーノピンバッチは 200 円につき 1 つという事ですので、1000 円寄付をいただきますと、トッキーノバッチは 5 つ進呈しますし「緑の募金」のピンバッチは、1 つというような仕組みで、どちらかと言いますと、ピンバッチをお土産的に持って帰っていただくというような意味合いでより多くの募金が寄付出来ればというような事でございます。

めくっていただきまして、3 ページでございます。式典の行事計画でございます。特にこれまでは、文字でお示ししていた点を様々なパースが出来上がりましたので、これを新しく入れ込んでおります。まず、プロローグでございます。プロローグにつきましては、前回東日本大震災をここに入れておりまして、基本計画では 10 時 15 分開始を 5 分前倒しして、10 時 10 分としておりました。今回、東日本復興支援を記念式典へ移動しましたけれども、様々アトラクション等の時間配分を計算しますと、やはりそのまま 10 時 10 分のままで開始をさせていただきたいという風に思っております。アトラクションの中身でございますけれども、「森・川・海」のアトラクション、始まりのメッセージという事で、約 200 人の少年団による集団パフォーマンス、これを約 5 分間開催する予定でございます。その後、鳥取市鹿野町にあります鳥の劇場さんによります創作劇「大山森話（だいせんしんわ）」ということで、子供と木の精との語らいを中心に人間と木との共生を表現するという事にしております。これが約 15 分でございます。これが終わりましたら、感謝状贈呈、記念切手贈呈等を行いまして 10 時 50 分終了予定でございます。

次に、記念式典に移ります。記念式典のプログラムは、ほぼ例年行われております定型

的な行事でございますけれども、冒頭で申し上げました通り、東日本大震災の復興支援をこの記念式典の中に追加をしております。プログラムの場所としましては、大会テーマ表現という所で、鳥取県の独自のアトラクションの後に、東日本大震災復興支援の苗木の目録の贈呈式という形になろうかと思っておりますけれども、それをプログラムとして追加をしております。大会テーマ表現の方法ですけれども、今回鳥取県が設定します「学習の森」、「交流の森」、「体験の森」、「生活の森」と4つの森を造成しますけれども、それぞれの森にあわせましたメッセージをそれぞれの団体に発表していただくかなと思っております。そのメッセンジャーのバックには洋舞連盟さんによるダンス、パフォーマンスが繰り広げられるというような組み立てを今、考えているところでございます。

それからめくっていただきまして、5ページです。3部構成最後のエピローグでございます。エピローグにつきましては、がいな未来の森という事で、子供主人公に選定されました男の子、これは米子市立明道小学校、河島君という男の子ですけれども、この子のメッセージ発信の後に和太鼓連盟さんによります太鼓の演奏を展開していきたいという風に思います。太鼓演奏で気が引き締まった所で「大山賛歌」に乗せて出演者全員が入場してくるという風な組み立てになっておりまして、そこで大会テーマを全員で唱和をしていくという事です。その後、来場者一体型の演出という事で文部省唱歌「ふるさと」の合唱をしながら、ゆっくりと生分解性の鳥型風船を放天していきたいという風に考えております。プロローグ、それから記念式典、エピローグ、それぞれ音楽に関わる事も含めまして、1月8日に式典音楽専門委員会を開催しまして、それぞれの基本的な組み立て方につきまして、そこで承認をいただいているところでございます。それから6ページの方ですけれども、出演者がほぼ決定をしております。例えば進行役でございますけれども、これはいわゆるアナウンサー、アナウンスをしてくれる方ですけれども、米子南高校さんあるいは米子松蔭高校さんをお願いをしております。それから、式典の補助員という事で、これは式典のアテンドでございますけれども、米子松蔭高校さんをお願いをしているところでございます。それから地元のみどりの少年団、これは南部町さん、伯耆町さん、江府町さん、この3町の来年の5、6年生に全員出いただくという事で、地元3町で協力体制を取っていただきました。役割分担もそれぞれ決定している所で、順次2月頃から練習を開始していきたいという風に思います。それから音楽隊につきましては、夏頃から決定しておりまして、すでに練習を始めているところでございます。

それと、あと「東日本復興支援」、これは新規に入りましたプログラムでございます。

本日委員としてお越しいただいております車尾小学校の達磨校長先生をお願いしまして出演を引き受けていただいております。特に復興支援の関係で陸前高田市と交流があるという事がございまして、1番最適な小学校、みどりの少年団という事で選定し交渉をさせていただきました。それから陛下のおられる前でメッセンジャー、大会テーマ表現でメッセージを発信していただきます4つの団体に4つの森をそれぞれ表現していただきます。4つの団体を選定して交渉してきました。1つは米子高専、これは建築学科の生徒さんが山で

実際に木を切り出してベンチを作って公共施設に寄贈しているという取り組みをさせていただきます。それから日野川源流を守る会という事で、これは日野川、特に鳥取県西部を中心に「森・川・海」の清掃活動と全般的な活動を広くさせていただきます。それから共生の森企業を代表しまして、山陰合同銀行さん。これにつきましては鳥取県第 1 号の共生の森でございますし、山陰ネットワーク会議という各地域のボランティア団体を束ねておられますので、そういう理由で選定をさせていただきました。それから、地元の江府小学校みどりの少年団という事で、これはサントリーさんと一緒になりながら、ブナの実プロジェクトという事で、ブナを育てておられたりします。こう言った 4 団体にメッセージを発信していただく予定にしております。

めくっていただきまして、7 ページでございます。植樹行事計画でございます。植樹行事計画につきましては、お手植えの配置、それからお手播きの樹種の順番、方向、それから代表記念植樹の位置等々、それぞれ前回も表示させていただいておりますけれども、とっとり花回廊いやしの森の方で植樹祭開催後に、どなたでも自由にお越しいただきまして植樹をしていただくという期間を設けるという事が決定しておりますので、これを付け加えさせていただきます。

それから 8 ページの方は、会場パース図です。先程別紙 1 の方で説明致しましたけれども、車椅子の方の対応という事でございまして、お野立所に向かって右側の最前列この辺りを今、検討しております。式典音楽隊のちょうど正面辺りになりますけれども、会場自体が芝生という事がございまして、芝生の中をずっとまっすぐ通ってかなりの距離を移動するという事は非常に難しいかなと思っております。舗装路をなるべく通っていただくような形で、前の席の方に移動していただけるような形を取りたいと考えているところでございます。

めくっていただきまして、9 ページでございます。飾花の関係でございます。飾花の関係につきましては、全 11 種類を選定しまして設置場所を具体的に記載しております。ここの抜粋の方には入れておりませんが、今回新たに具体的な配置計画というのを実施計画の中に記載しております。これらの花につきましては、JA 鳥取西部さん、あるいは県内農業高校等に協力をいただきながら調達をしていく予定にしております。

それから 10 ページでございます。仮設トイレ計画です。仮設トイレ計画、具体的な数字を委託しております乃村工藝社の方から出していただきました。特におもてなし広場、上から 3 番目でございますけれども、ここで 62 基計画をしております。当初委託のコンペをする時には、42 基で計算上足りるという話で、42 基で進んでおりましたけれども、これまで全国植樹祭に参加いただいている方のご意見を伺いながら非常にトイレの数が少ないというような事をふまえて、再度検討をいただいた結果が 62 基とスペースの関係もありますが、62 基という事で結果を伺っております。全体でもスタッフ等々もいますので、116 基という数で対応をしていきたいという風に考えております。

それから 11 ページでございます。運営計画でございます。会場内動線計画、先程説明し

ましたように高齢者等に配慮した輸送を検討するという事は記載をしておりますし、会場おもてなし計画あるいは、会場外でのおもてなしにつきまして、いただきました意見をふまえて実施計画の方には記載をさせていただいているところです。詳細につきまして、田中補佐の方に交代しまして説明をさせていただきます。

田中課長補佐

それでは、ご説明申し上げます。全国植樹祭課招待おもてなし担当の田中でございます。今ご案内にもありました。資料1のですね、11ページをご覧くださいと共に1枚物の紙の横長で別紙2という紙をご用意しております。こちらをあわせてご覧くださいませでしょうか？別紙2を中心としてご説明申し上げます。式典会場に隣接してご存じの通り、おもてなし広場をご用意する予定にしております。内容についてご説明申し上げます。まず総合エリア、総合案内所等のテント、あと展示エリア、国土緑推関係他、各団体様の展示エリアの他に物産販売、飲食のテントと、あとステージを用意することを考えています。物産販売、飲食等につきましては15テント用意する予定にしております、多くは県レベルの団体様、鳥取県の物産協会さんであるとか農業団体様、あるいは県レベルの漁業団体様等に個別にお話をさせていただいております、出展についてお願いをしているところでございます。その他この15テントの中の4店舗を公募枠と致しまして、これは1月中にはですね、出店希望の方を広く募って4テント、何団体かは出店確保という事で検討しているところでございます。次は、ステージでございます。おもてなし広場の中にも小さなステージを用意しております、ここにつきましては、出店いただく団体さんをこの3団体という事で、決定をさせていただいたところでございます。1つ目が日野高校の「日野高等学校郷土芸能部（荒神神楽）」でございます。次は、「淀江さんこ節保存会（銭太鼓をやるとか傘踊り、壁塗りさんこ）」、そして3団体目が米子西高等学校の書道部（書道パフォーマンス）でございます。この3団体に、出演をしていただくという事でお話をさせていただいているところでございます。このちょうど会場内のおもてなしにつきまして、先般、なるべく長い時間滞在が出来るようにとお話もありまして、附随して滞在時間もお話させていただきますと、山口大会と違いまして鳥取の大会は式典の会場にすぐ隣接しております。ですので、山口大会は式典が終わったお帰りの際のみしか、見ていただく事が出来なかったわけですが、この度鳥取大会では、午前中に式典が始まる前も若干、おもてなし広場をご覧ください機会があります。

そして、式典エピローグが終わった後、お弁当食べていただいて、すぐにこのおもてなし広場にも足を運ぶ事が可能でございまして、今年度開かれました山口大会に比べて、なるべく長い時間滞在をしていただけるようにという事で考えております。

続きまして、この別紙2の中の四角の2（■2）でございます。会場外でのおもてなしでございます。こちらにつきましては、米子市観光協会様が中心となって、以下の催事を開催していただけるという事で話が進んでおります。米子市観光協会様におかれましては、今年度の秋にだんだん広場で「ネギ来まつり」というイベントが開催されまして、それに

準じた内容で今、ここ主な内容に書いてあるようなことを全国植樹祭開催日当日に、どなたでも来ていただけるイベントとして開催をする予定にしております。飲食や物販の販売等と共に、次に書いてあります。「おうちで植樹祭」と銘打っておりますが、これは植樹会場、全国植樹祭の植樹会場で植樹していただく苗木と同じ物、これを当日米子駅のだんだん広場で無料配布をしていただいて、多くの方にご自宅でも植樹祭をしていただくというような事を考えております。あとは、全国植樹祭、例年ですとNHKで生中継がございますので、このだんだん広場でのイベントの祭にも生中継される映像をここに、だんだん広場にお越しになった多くの県民の方々にも見ていただけるような催しを用意しようという所で進めていこうと思います。

続きまして、四角の 3 (■3) 沿道の飾り付けでございます。のぼり等、主な設置の予定箇所をこのように伯耆町の鬼守橋、これは花回廊に上がっていく所の主要な道路でございます。鏡ヶ成の植樹会場の周辺であるとか、あと米子空港駅、皆生温泉これは県外招待者の主な宿泊施設があるような事でございますが、このような事と共に、関連行事として三朝町で全国林業後継者大会が開催される事もありますので、そのような方々がお越しになる鳥取駅であるとか、鳥取空港とかについても何らかの飾り付けをという事で検討しているところでございます。

四角の 4 (■4) をご説明致します。米子空港、米子駅でのおもてなしでございます。こちらにつきましては、案内ブースを米子空港、米子駅に設置する予定でございます。そして、米子空港につきましては簡単な植樹祭関連のマニュアル展示もあわせて設置をするというところで進めているところでございます。説明については、以上でございます。

近藤課長補佐

続きまして、12 ページでございます。実施本部の計画でございますけれども、実施計画書におきまして現在 7 部 25 班体制という事で検討しております。ここにつきましては、濱本補佐の方にお願ひします。

濱本課長補佐

総務協働担当の濱本です。宜しくお願ひします。では、12 ページの実施本部計画でございます。全国植樹祭の開催に当たっては、鳥取県の全庁の協力を得まして準備、実施を行いたいと思っております。12 ページの表の様に 7 部 25 班の体制で臨みたいと思っております。実施本部長は知事、副本部長は副知事で各 7 つの部に県の部長さん等に部長をお願ひしたいと思っております。仕事の内容に関係ある部、または課の職員の皆さんに部員・班員を務めていただきたいと思いますと思っております。12 ページの赤字に県民参画推進部を追加し 7 部 25 班体制って書いてあります。表の運営本部の下に県民参画推進部というのを追加、鳥取県の特徴だと思います。全国植樹祭を県民の皆さんと一緒に成功させたいという事で、県民の皆さんと協働を統括する大会ボランティア班、それから昨年 4 万人を超したんです。美鳥の大使、とっとりグリーンウェイブ、鳥取県民運動を展開しております。これを大会まで、美鳥の大使の皆さんと一緒に盛り上げていくとっとりグリーンウェイブ班。とっ

とりグリーンウェイブは25年に開かれます全国都市緑化フェア、またはエコツーリズムの国際大会、大山を中心に行いますけれど、こういう緑のイベントに行事等を引き継いでいく事しておりますので、そういうことの企画を行いますグリーンウェイブ班。それから東北復興支援班というのは、とうほく・とっとり森の里親プロジェクト、東北三県の木の種子を鳥取県でお預かりして苗まで育てて里帰りさせていくというプロジェクトを進めておりますので、その企画支援を行う班。これを設けさせていただいて大会までの盛り上げと同時に、大会後もとっとりグリーンウェイブを引き継いでいこうという班及び部にしたいと思っております。それから全体の規模ですが、県職員でだいたい1060人くらいを予定しております。それから開催三町、開催三町と申しますと、開催地元の南部町さん、伯耆町さん、植樹会場があります江府町さんの方からの応援、それからこの本部には三町に限らず他の町の方からも加わっていただき、それから今、募集しておりますボランティアの皆さんにも入っていただきまして、今のところ総勢約1570名で全国植樹祭の準備、盛り上げ、実施に万全を期したいと思っております。同時に、植樹祭または植樹祭関連で行啓本部ですとか、林業後継者大会も本部体制が取られますので、そちらの方とも十分調整致しまして県職員の動員なども十分に後継者大会の方にも配慮して進めていきたいと思っております。だいたいの予定ですが、1月の終わりから2月の中旬にかけて本部体制を立ち上げる会をしたいと思っております。今後はスタッフの動員の手配ですとか研修、それから最終的には前日リハーサルを行いまして当日を迎えたいと思っております。以上です。

近藤課長補佐

続きまして13ページをお願いします。運営計画の最後でございます。研修・リハーサルについてご説明致します。先催県同様、式典リハーサル、それから総合リハーサル、前日リハーサルを行います。日程につきましては、式典リハーサルが4月6日。これは荒天会場になります米子コンベンションセンタービッグシップで行います。この式典リハーサルにおきましては、荒天会場のリハーサル、荒天リハーサルも同時に兼ねて実施したいという風に考えております。それから総合リハーサルでございます。これは、1日ばかりでやるリハーサルになりますが、4月14日の日曜日、雨天の場合の予備日としまして、4月21日を予定しております。それから前日リハーサルは、5月25日でございます。これも1日のリハーサルという事になりまして総合リハーサル、前日リハーサル大規模に開催したいという風に思います。それ以外にも各出演団体等の意見を聞きながら、合同練習等追加で計画はしていきたいという風に思っております。具体的に言いますと地元開催三町のみどりの少年団、三町にご協力をいただきまして、5月11日に式典会場の方でアトラクションのみの合同練習を開催する予定にしているところでございます。

14ページをお願いします。宿泊・輸送の関係でございます。前回お伝え致しました通り、宿泊場所につきましては、皆生・米子市内・大山エリア、ここで宿泊いただくようにしております。それから、三朝町で開催されます後継者大会の参加者につきましては、三朝温

泉に宿泊という計画に今なっております。今回、新たに追加しましたことございますけれども、1番下の方に県外招待者の宿泊地出発は原則7時以降を予定しておりますという事で、これは実施計画の本文に追加記載をさせていただきました。

15 ページをお願い致します。式典中のバスの駐車場につきましてでございます。先程説明致しました通り、南部町鶴田の駐車場をメイン駐車場として取り扱う事にしております。ここに約150台全体の70%駐車出来るという風に考えておまして、その他、消防学校あるいは大山の上楨原の駐車場とを有効に使わせていただきながら輸送計画を立てていきたいという風に考えております。

それから16ページでございます。荒天の式典計画でございます。荒天のプログラムとしましては、晴天のプログラムから「プロローグ」、「エピローグ」の部分、それから記念式典のアトラクション、大会テーマ表現でございますけれども、これらを除いた部分で構成をします。この中でも、プログラムの中程にありますけれども、「東日本大震災復興支援」これの目録贈呈のプログラムをここに追加しているところでございます。時間的には50分程度と書いてありますけれども、晴天会場のプログラムからアトラクションを除きますと約45分位で終了する予定にしております。

最後17ページでございます。県民運動につきましては、従来やってきました実績の記載をしているところでございまして、12月に米子駅前で残日計の除幕式を行いましたので、これの記載を追加しております。第10章につきましては広報・協賛計画という事で、大会ポスター、あるいはPRグッズの作成等々これも実績に応じまして記載をしているところでございます。特に変更点はございません。以上でございます。

西山部長

事務局の方から、実施計画最終案の説明をしていただきました。委員の皆様の方から意見なり質問があればお伺いしたいと思います。

中野委員

鳥型風船に関してなんですけれども、生分解性である事を実施計画に記載という事で、関係者はこれで「環境に配慮しているから良いだろう」という流れだと思うんですけれども、実際ご覧になった方、会場での参加者の方っていうのはイメージ的には、演出は素晴らしいと思うけど、心の中では「この後どうなるんだろう」とか、やはりこの後の事というのが気になると思うんです。会場の皆さんに対しての説明はどのようにお考えでしょうか？

近藤課長補佐

大会プログラムというか、大会の当日パンフがありますんで、そういった所に盛り込んでいきたいと思っております。

中野委員

はい。よろしいですか？ その時のパンフレットに盛り込むとして、出来るだけ優しい言葉で掲載していただけたらなあと思うんです。「生分解性の何とかを使用しています。」

という言葉だけでは、一般の人は分からないと思いますので、「何日後くらいには土になるんですよ。」という様な、子供にでも分かりやすい様な表記で掲載をしていただけたらなあと思います。

近藤課長補佐

分かりました。

西山部長

風船事態には、そういう何か説明とか入っていないんですね？

近藤課長補佐

また、メーカーでちょっと確認をさせて下さい。一般的には水に落ちると早い段階で分解していくと、溶けてしまうという事なんですけれども、土とか木に引っかかった場合になると、2週間とか、かかる場合があるという風には聞いています。もう少し正確に情報を把握した上で記載をしていきます。

西山部長

分かりやすく、参加者の方が理解出来るような書き方、内容を工夫してみてください。

近藤課長補佐

はい。

西山部長

その他ございますでしょうか？トイレの数がありましたけれども、多いのか少ないのか良く分からないという事がありまして、どういう評価をすればいいのかという事で事務局の方で説明が出来たらお願いします。

池内課長補佐

植樹祭課で施設担当をしております。池内でございます。宜しくお願い致します。トイレについてご説明致します。直近のこの5月にありました山口県のトイレの数なんですけれども、これが全体で89個ございました。これは、あくまでも招待者、一般招待者のレベルでございます。山口県の場合には、これは実績ベースで約8000人のお客様一般招待者の方がいらっしゃいまして、単純にトイレの1室あたりで何人位の人間が必要なのかという事になりましたら1室あたり87.6人の方が、1つのトイレを使うという計算になります。

それに対しまして鳥取県の場合には、ちょっと多めに数えまして5000人をベースで考えております。実質は特別招待者の方が500人いらっしゃいますので、4500人でいいかもしれませんが、少しスタッフ等の可能性も考えまして、多めに見て5000人の場合、現在設置する予定が60個という事で、1つのトイレに83.3人という事で、山口県よりも1室あたり5名少なくなるという事でございます。それから、2年前の和歌山県にご出席された方は覚えているかもしれませんが、和歌山の場合には、男性用は非常に渋滞しまして、女性用はガラガラだったという事がございました。和歌山県の事を分析致しますと、男性用につきましては1室あたり140人弱という人が1つの部屋を使うという事がございまして、渋滞になったんですが、途中で使っていないトイレを開放したという事がございまして、一部は身

障者用の方に専用という事で、大きなトイレの使用を止めていたんですけれども、それを解放した途端に渋滞が収まったという事がございまして、その時に 1 つのトイレあたりが 83 名というのがございます。今の鳥取県の場合が男性で見て 89 名、全体でいって 83 名でございますので、山口県よりもトイレの数は多いと。かつ和歌山の実態を考えますと大きな列が出来るような事は回避出来るのではないかなあという風に考えております。以上です。

西山部長

その他ございますでしょうか？ 何でも結構です。実施計画に反映するような中身に無いような、例えば、注意事項であるとか、こういった点に配慮した方が良いんだとか、そういう意見があれば。

実施本部の関係ですけれども、三町を中心に見ていますが、全部の市町村が何らかの関わりをもっていて各地域から参加者が参加されるバスの現状であるとか、そういう形の全市町村が関わるといふ風に思ったらいいんですね。

濱本課長補佐

幹事長がおっしゃる通り、バスの各市町村から出発する、バスの添乗員のお手伝い、それから、その添乗するバスの集合場所の運営には、三町以外全市町村の皆さんにご協力をいただく予定です。

森下会長

あとで、出てくるかも分かりませんが、会場へ入るのは参加者が、自由に入っていいんですか？ 例えば、乗用車で何名かのグループを組んで参加をするという事は可能になるのですか？

近藤課長補佐

これの実施計画書の厚い物の 78 ページを見ていただければと思います。

西山部長

78 ページ？

近藤課長補佐

78 ページをお願いします。78 ページ、第 6 章の宿泊・輸送計画でございまして、1 番上に関係車両一覧という事で記載がございます。駐車場計画にも関係してきますけども、中央特別招待者、極 1 部の招待者の方ですけれども、これにつきましては乗用車、ハイヤー等をチャーターしまして来場いただくという事で、これが約 30 台を想定しております。それから、次にあります県外招待者、県内招待者につきましては、輸送手段としましては、バスのみでございます。これが約 170 台という事で、添乗員を同乗しまして、各種案内、誘導をしていくということで、ほとんどの方の行動が、バス単位での行動という事になります。これ以外に、本部員・協力員いわゆるスタッフでございまして、これらにつきましても、バス利用が原則という事になりまして、合計約 220 台のバスが当日、一日のうちに動いてしまうという様な想定でございまして、招待者の方につきましては、事前に

招待状が送られた方という事でございますので、当日ふらっと花回廊に来られて、自家用車で来られて「式典に参加したい」と言われても、実際には式典等々、参加出来ない仕組みでございます。

森下会長

そうじゃなくして、申込みをしとって例えばで、後継者大会の前日にあつて、それで夜遅くなる分けですわな。最後までおられまして。それから出発をしてというのは、大変ではないかと？そしたら、朝一番に出発をして朝一番に出発で直接に会場に行かれないかという事ですけどね。招待状が来ている者に対してですよ。

近藤課長補佐

招待状が来ても基本的に受付は、バス乗車で受付という形ですので、それは難しいです。まず、駐車場も基本的には用意出来ていないという状況です。

森下会長

そうすると、後継者大会の方キャンセルかなんかして、前日か朝一番にそこへという事なんですね？バスの乗り場は？

近藤課長補佐

そうですね。指定集合地、基本的には宿だったら宿です。

森下会長

後継者大会は、そこら辺はどうなるかなと思って。

田中課長補佐

いいですか？後継者大会に出席されて、その次の日、全国植樹祭にもご参加いただきたい、両方ご参加いただきたいと思っておりますので、後継者大会にご出席される方の次の日の植樹祭の参加方法は、なるべくちょっとご配慮はしたいと考えております。ただし、あいにくご配慮させていただいたとしても、乗用車等で花回廊に直接お越しいただくという事はあいにく構造上、あるいは花回廊の式典会場付近の色々な都合により、それは無理という事をご承知いただきたいと思っております。パターンとしましては、例えば後継者大会に出られた後に、次の日の朝、例えば米子駅かどこかの集合場所、私共がどこかに提示をさせていただいて、そこからバスに乗って花回廊に行っていただくというような事であるとか、いくつか私共事務局の中でそれは検討しているところでございますので、また後継者大会に出られる方につきましては出来る範囲で私共も「こういう形はどうですか」というご提案をさせていただきたいと考えておりますので、ご了解いただければと存じます。ただあいにく、どうしても自家用車で花回廊に直接行くという事だけは難しいと、出来ないという事だけは、ご了解いただければと思っております。

森下会長

後継者大会の会場からバスを2台なら2台くらい出発させてもらおうと非常に、トラブルが起きなくていいのかなというような状況ですけれどもね。

田中課長補佐

仮に後継者大会にご出席いただいて、三朝が会場でございますが、そこで三朝のホテルにご宿泊をされるという場合ですと、その次の日の朝、三朝のそのホテルの前から花回廊の全国植樹祭の会場に行くバスは、当然私共で用意はさせていただきます。

森下会長

用意されるわけですね。

田中課長補佐

はい。

森下会長

今の所、130人が泊まれるというような事ですのでね。

田中課長補佐

後継者大会に、ご参加される方は三朝で泊まれたり、また他の方もおありだと思えますので、そこにつきましては後継者大会の事務局の側となるべく無理の無い形で出来る形、ご提案をさせていただきたいと思っておりますので、少なくとも三朝でお泊まりになる方につきましては、次の日の朝、三朝から植樹祭の会場、花回廊に行くバスを私共がご用意致します。

森下会長

分かりました。お願いします。

西山部長

いくつかの参加の形、パターンがありますけど、三朝に泊まれる方は大丈夫という事ですね。三朝にバスがあるので、それに乗っていただければいい。例えば、西部の方の方で、三朝の後継者大会に行って翌日式典に参加をされるという場合には、車で三朝まで来られた場合には、車を持って帰りたい方がいたりするのではないかと、そのあたりのところですね。後継者大会に出られる方は、奥大山鏡ヶ成で植樹と、めぐみの森の方に植樹に行かれるコースになっています。それに乗る為には、三朝からバスに乗らないといけないことになっています。77ページに地図がありますけれども、77ページの上の方に。

森下会長

そういう車で来られた方はどうするかというのは、どっかに行って、どっかのバスの駐車場の所まで行って、乗りあわせをするというような形になってくるわけですよね？

田中課長補佐

その日になってから、自由にこの場所に車で来られても我々の準備が出来ていないので、またその辺りも皆様のご希望がおありだと思えますので。

森下会長

把握してもらうようにお願いします。事務局の方で。

田中課長補佐

はい。

西山部長

なるべく後継者大会に県内の西部の方が、行かれるような場合にも出来れば地域で、バスで三朝まで行っていただくような形を取ると、後から自由に行動できます。逆に後継者大会の参加方法を固定した方がいいのかなど。車で来られる時には後の始末があるので。大会終了後に米子から三朝に帰って来るバスは準備をされるんだと思うんですけども。

田中課長補佐

そうですね。例えば三朝での後継者大会に出られて、そのまま三朝のホテルに泊まれた方は、当日朝、当然三朝から花回廊ですが、その帰りのバスはまた、三朝に当然帰らないと例えば、そこに自家用車を置いていらっしゃる方とかもいらっしゃるでしょうから、そのような会場の配慮もさせていただきます。

西山部長

三朝までは、帰って来られますよね？三朝の方の旅館に車が置いてあって帰ってくる仕組みを。

森下会長

またそれが、植樹祭が終わってから観光して帰りたいという人があるかもしれませんね。そういう把握は難しいんじゃないかと思うんです。そこらあたりが、分かるようなシステムって、何かその希望をちゃんと取っておかないと、ややこしいことになるなあと思って。

西山部長

林業後継者大会の県外の方については、移動方法をあわせて伺うようにしているという事でしたので、そのあたりは、きめ細かく対応をするような、あるいは事前をお願いをするような事をしていかないといけない。

岸田参事監

県外はもとより、県内の後継者大会参加者の方も前もって行動スケジュール、どこで乗って、どこで降りてという所まできめ細かく対応させてもらいたいと思います。

西山部長

その他、何でも結構です。花回廊での自由植樹の時間というのはおよそ、どれくらいにしようかというような所についてはどうですか？

濱本課長補佐

植樹祭終了後の自由植樹のことですかね？

西山部長

考え方ですね。今のアイデアでもあれば。

池内課長補佐

今のアイデアとしましては、開催後2日、3日くらいは、それは片付け等ございますので、それが済みましてから、多分1週間位の期間を自由植樹の期間という事にしまして、なるべく土日を含むような形で、皆様が参加出来るような日程でやりたいと考えております。花回廊に、今のイメージは花回廊に集まっておきまして皆様に、花回廊から歩い

て植樹会場まで行き、そして植樹会場あたりで解散して、行くというような事、花回廊当然通るという事はございますので、これ観光事業団さんの方とも色々調整させていただきながら、中身を進めていきたいと考えております。

西山部長

衣笠さんの方はよろしいでしょうか？

衣笠委員

これから、具体的な色んな話が現場の方と県の方で決まって来ると思いますので、私の方も先催県を見ておりますし開催地でありますので協力させていただこうと思いますが、早め早めに協議をしながらさせていただければと思っております。行幸啓の関係もありますので、その辺の連携について調整するとご説明いただきましたので、その辺り現場としては、色んな所からの命令系統が出てきたらややこしくなるので、その辺り調整していただけたら有り難いと思います。

西山部長

その他ございませんでしょうか？

達磨校長先生、出演者のことで色々とお世話になります。陸前高田市と色々交流があると、先程説明を受けましたけど。

達磨委員

後でお話ししようかと思っていたのですが、うちの子供達は、東日本大震災後、陸前高田市の小学校とピンポイントで支援しています。ちょうどあそこは、皆さんご存じの通り「奇跡の1本松」が残っているところです。小学生も良く理解出来る。かなりマスコミの方も報道しますから。ちょうどそこの交流があって、今回案内いただいた時に、どこの県の種子を育てるかとか聞くと、子供達も即答で岩手県ってというようなことで、植樹祭の苗もあって職員は大変だと言っていますが、子供達は非常に期待しております。で、後でお話をおと思ったんですが、植樹祭でこのような形で復興支援という事を出されるわけですが、この辺は植樹祭を継続してやっていく活動としてされたわけですが、25年度に完結するという形ですか、それとも年度をまたいで？

西山部長

最初の説明では、1年もしくは2年という話。

池内課長補佐

実は現地、現地の受け入れ側の県の方が、非常にご承知の通り復旧活動、復旧の工事の方がずれ込んでおまして、本来でしたら平成25年度、24年度後半くらいから実際どこにかにも関わってくる予定だったんですけども、かなり着手が遅れておまして、25年度くらいから、やっと植樹する為の基礎的な海岸部分の盛土とかがスタートする予定です。ただ、すでに走っている所ございますので、早ければ25年の秋から植樹可能になるだろうと。ただ、あくまでも非常に面積が少ないと伺っております。本格的になるのは、やはり26年度くらいからという風に伺っておりますので、予算的な物もございますけれども、25

年度からそういった活動を始めると、実は種の委託、プロの生産者の方に委託している部分もありますが、これにつきましては、25年と26年度、二カ年間の契約という事で今、予算を要求しているところでございます。

西山幹事長

恐らく先生がおっしゃる様に、まだ始まったばかりという事がありますので、堤防の基礎の復旧、取り組みをしているという事もあるんだらうと思います。学校の方で、そういう風な意向があったりという事であれば、当面はこの1~2年育てて回収するという事で、種子ももらって来ている数に限りがありますよね。希望も多かったのも、確かあんまり1校あたりにたくさんお配り出来ていないと思う。これからの取り組みにどうやって繋げていくかという事は、これから校長先生あたりと相談しながら考えて行けたらと思います。短い期間で育てないといけないのですが、今、(種子の)手持ちが無く、次を育てようと思えば、また次のことをやる必要があって、これは車尾小学校の子供達の気持ちも含めて、色々なやり方があるかと思いますが。みどりの少年団の活動を支援する仕組みもあるので、学校を含めて話し合いが持てるような形で出来たら良いかと思います。どこまでかと言われると、今は種を育ててお返しするということなんですが、次をどうしていくかという事をまた、ご相談をしていきたいと思っています。

達磨委員

みどりの少年団は小学生がやるわけですが、今、一生懸命育てようと取り組んでいる小学生達は、卒業してしまう。

次々、団員にはなっていくわけですが、その辺のところは気持ちが違いますので。スクールステイの苗木にしても今、育てている子供達と今回ドングリをいただいて、その木を育てる。やっぱり、意識が違います。あの、先の見通しと言いますか、そういう部分出来るだけ早く出していくと、計画的な取り組みっていうのがある程度聞きたい。どうなるのか分からないっていう部分が、やっぱり多すぎると難しいかなと思います。

西山幹事長

それは、育ち加減もあるんですかね？ 今年の秋までに大きくなりかねると。

池内課長補佐

そうですね。

西山幹事長

あんまり小さいと、もう1年、もう半年待ったりとか。木の種類とかもあるでしょうし。

池内課長補佐

その辺は今、渡している樹種ではあまり差は出ないと思いますが、おっしゃるようですね。

西山部長

またこれは、相談をさせていただきながら進めたいと思います。

その他ございますでしょうか？

赤澤委員

危機管理、何があるか分からないんですけども、一般の方に体調不良等があった場合は当然、救護班の方がおられると思うんですけども、もし天皇皇后両陛下、ご高齢でいらっしゃるんですけども、例えば直前に体調が悪くなられたとか、そのような時にはどの場合のシミュレーションというのはどのように考えておられるのかなあと思うんですけども。

西山部長

内容は行幸啓本部の対応になると思うんですけども。説明できる範囲で、基本的な対応を説明出来たら。

梅田参事

幹事長が言いましたように、全国植樹祭を含めて前後の日程、全体で行幸啓本部というのを庁内に立てるようにしております、その中には医療に関する班というのも設けるようにしております。また、私共の全国植樹祭の班の中にも医療、現場における医療の班を設けるようにしております、いずれにしましても西部の地域の医療機関と連携を取って、どんな事でも対応するようなネットワークというのを、あらかじめ設ける予定にしておりますし、医療だけでなく警備とかあらゆる事態に対応出来るような行幸啓本部さんとも連携を取って今、準備をしているところです。

大北課長

供奉随従員の中にも侍医さん、お医者さんもおられますので、何名かおられますので。

西山部長

よろしいでしょうか？ 今日で7回目という事で、だんだん最終形になってきましたけれども、お互いの了承を図りたいと思うのですが、あとはリハーサル等で微調整を図っていく段階になってきていますので、計画の基本形につきましては、よろしいでしょうか？

中野委員

すごく小さい事で申し訳ないんですけども、前回お土産について色々あったと思うんですが、「コースター2枚もらっても嬉しくないよ」とかですね、正直言ってごめんなさい。

このような意見も出たり、そのコースターも「反るよ」、「反らないよ」みたいな事があって業者さんと話をしてみます。で終わったかと思うんですが、その後どのようにになりましたでしょうか？

西山部長

そうですね。意見の中のところで、それを早く言わなければいけないですね。

大北課長

あの、根本先生が言われた。コースターは、うちの檜のコースターでは無いと思うんです。杉のコースターだと思うんですけど。檜は割と含水率が低くて、安定していて反らないんですけども。杉は含水率がまちまちですので、良く反るんですけども、我が方の

物は檜を使いますので、狂いが生じるということはほぼ無いという風に思っています。あと、他にもお土産にコースターは、LVL のコースターを使いますが、LVL も本当に十分乾燥した上で特に小型ですので、そういった反りは気にならないと思います。いわゆるエンジニアリングウッドですので、大丈夫かと思えます。

西山部長

根本先生がおっしゃっていた。「反ったよ」というのは、今回のとは材質が違うということですね。

濱田委員

すみません。くだらない意見 1 つ聞いてもよろしいですか？このコースターって、コースター意外に利用って出来ないんですかね？

大北課長

あのね、私はよく使うのはマウスパッドに使うんですけど。

濱田委員

ああ、そうか。四万十川の方とかグッズを出していますよね？もしかして、コースター意外に活用出来たらそういう、コースターだけでなくて活用出来たら、もうちょっといただいたら嬉しいとか。例えば、お風呂に置いていただく物とか、例えばこうすれば別の使い方があるとかすれば、香りがすごくいいので、何かないかなあと思って。

中野委員

四万十川は、袋に詰めて液にしみ込ませて入浴剤にとかいて、売っていますからね。

濱田委員

置いておくだけでも多分いいと思うんですけども、何か方法があればいいかなあ。

中野委員

女性としては、この横に穴をあけていただくだけで、鍋敷きにも使えるなあ。掛けて置くと、邪魔になるんですけども、ちょっとヒモを付けるだけで、「それは自分でヒモを付けて下さい」という説明でいいんですけども、ここに穴をあけていただくだけでまた別の使い方ができるなあって、そのように思いました。

西山部長

よろしいでしょうか？ アイディアをいただきました。

梅田参事

アイディアをありがとうございます。

岸田参事監

再度、検討してみます。

西山部長

そうしますと、今回の最終案を 1 月 29 日の委員会に提出をするという事で、幹事の皆様ご承認いただけますでしょうか？

幹事全員

はい。

西山部長

どうも、ありがとうございました。それでは、報告事項について事務局の方から説明をお願いします。

濱本課長補佐

では、資料 1 横長の 18 ページをお願いします。JR 米子駅前広場に残日計を設置しました。設置したのは、開催 176 日前、半年を切った、12 月 1 日という事で、県西部地区の玄関口の 1 つである、米子駅前に写真の様な残日計を設置致しました。この除幕と共に創作劇の主人公 2 人の紹介、それから美鳥の大使の和田町松守り隊の方、それから、式典音楽隊に参加する高校の演奏など、残日計の設置と同時に、全国植樹祭の事が少しでも事前に感じていただける事を盛り込んで設置致しました。当日は、米子市長さん、JR 米子支社長さんにもご出席していただきました。それから、石村長様にも寒い中来ていただきまして、ありがとうございました。それから、観光協会の会長さんですと南部町長さん、伯耆町長さんにも出席して盛り上げていただきました。写真は除幕の様子で、その子供さんお 2 人が創作劇の主人公とエピローグ出演者です。その写真と発表の様子が載っています。あの看板は、トッキーノと大山のブナ林が電光掲示される方の写真をデザインしておりまして、裏面にはちょうど前ページにあります大会ポスターのこの絵が裏面に配置してあります。写真には、電光掲示版の方にしかありませんけれども、裏面はポスターの原画が配置されているような物を 12 月 1 日に設置しております。県内にもう少し残日計、県庁の方にも設置するようにしております。今回は 160 日前でしたけれども、100 日前とか、そういう節目の所をとらえて徐々に盛り上げる雰囲気調整していきたいと思っております。以上です。

西山部長

私も出席しましたが、出演者の 2 人の子供が非常にしっかりしていた。挨拶も良かったし、非常に本番が楽しみな感じがします。

池内課長補佐

続きまして、19 ページをご覧ください。とうほくとっとり・森の里親プロジェクトについてご報告致します。あの、先程の達磨校長先生との質疑であらかた喋ってしまいましたけれども、前回の幹事会総会でご案内致しました東日本大震災復興支援の取り組みを 11 月 15 日、16 日に嶋沢農林水産部次長を団長としまして、東北三県までまいりまして、種の受け取りのセレモニーを開催してまいりました。それぞれ三県（岩手・宮城・福島）からいただきました種、だいたい 3000 本程度の種でございますけれども、これを 12 月 26 日に、達磨先生にご無理を申し上げまして冬休み中でしたけれども、学校の生徒さんに出て来ていただきまして、副知事の方から種をお渡しするという、お渡しのセレモニー、これを開催致しました。だいたいこの 1 月の中下旬くらいまでには、県内 19 の小学校さん、約 222 本

分この種を配布致しまして、この種を植えて育成スタートでございます。植樹祭の当日 5 月 26 日ぐらいでは、やっと多分 20 cm ぐらい伸びる程度かなという風に考えておりました、その段階ではまだ、被災地に贈る事は出来ませんので、先程 1 番最初にご説明致しましたけれども、植樹祭の時には目録をお渡しする事を考えておりました、実際に東北の方に種を送れますのは、早くて秋以降という事でございます。今のところ、平成 26 年 3 月ぐらいまで、ただ生育状況によりましては平成 26 年度になるかもしれませんが、その頃にこの苗を東北へお渡しするという事でございます。この苗をお渡しする際に、これは今現在県民運動としてやっております美鳥の大使、これの何名か代表者の方にこれを現場での復興活動、実際にその苗を植える活動に参加していただくという、派遣するという様な事を同時に考えております。これも 25 年度ぐらいからスタートしたいなあと考えておりました、子供達の育てた苗を、これを美鳥の大使が、県の代表として現場で植えると、そして現場の方では当然、他の県からの来られた方、NPO の方、沢山日本全国、場合によっては、世界各国からいらっしやっています。そういった方の中に、美鳥の大使も加わっていただいて、鳥取発グリーンウェイブという事で活躍していただくと、またこれを県内外に PR していくというような事で、全国植樹祭を契機に鳥取県からこういった活動を発信していくという取り組みを拡大していきたいという風に考えております。以上でございます。

田中課長補佐

資料 4 のご説明を申し上げます。一般招待者募集等の結果でございます。募集状況の表をご覧くださいませでしょうか。募集区分、大きく 2 つに分けてございました。美鳥の大使、県民活動等をされていた方の中で、参加をご希望と事前に登録されていた方に対しての 500 名の枠に対して、これは 561 名の応募がございました。12 月 14 日に抽選を致しまして、抽選結果等そこで当選の方には、すでに通知をさせていただいているところがございます。この美鳥の大使枠で、この 12 月 14 日で落選された方も、一般参加者のこの枠に今度含めましての、抽選という形でございます。表のこの右側の、一般参加者の方をご覧くださいませでしょうか。募集人数は約 800 名とさせていただいている所に対して、大変嬉しい事に応募期間、一般参加者 2050 名の応募をいただきました。これにつきましては、この 1 月下旬ここに書いておりますように、1 月 23 日に抽選をする予定にしております。その後のスケジュールでございます。2 月頃にまず、この当選結果の通知をさせていただきます。その後この通知の中に、「参加を本当にされますか?」、ご都合が悪くなった方もいらっしゃると思いますので、結果通知には「参加されますか?」それとも「辞退されますか?」というような調査も兼ねておりました、そこで辞退等をされますと、今度は応募出席していただく方も、また枠が増えて来ますので、繰り上げ当選という形で作業していきまして、最終的には 4 月頃には、確定をさせていただきたいという風に思っております。その後、その当選された方へは、「どこの集合地にお集まり」いただいて「どういふバスで、当日はご案内しますよ」という様な案内の内容は、5 月上旬頃にお送りするようなスケジュールとしております。資料 4 については以上でございます。

あと 1 点資料にはございませんが、報告事項と致しまして視察旅行の概要という所を口頭のみで申し訳ございませんが、簡単に説明を申し上げたいと思います。全国植樹祭に参加に関連致しまして、前後の日程で参加者の方のご希望に合わせて視察旅行の計画を JTB さんの方で、それは検討していただいております。日帰りで約 2 コース、1 泊 2 日、これは日曜日式典が終わった後、1 泊 2 日で観光する程度で検討していただいております、いずれも県西部のみならず、例えばその鳥取県の東部に入ってから、日帰りで米子の方に行くコースもあれば、1 泊 2 日のコースでありますと、花回廊で植樹祭が終わりましたから最終的には鳥取空港、あるいは鳥取駅から県外に帰られるという様なコースも含めまして、県内全域のおもなった観光地等を回るようなコースで、JTB の為に考えていただいておりますので、口頭のみで申し訳ございませんが、ご報告申し上げます。報告事項につきましては以上でございます。

西山部長

ただいまの報告内容につきまして、何かご質問等ありましたらお伺いします。

井関委員

招待者に関して、我々の団体は突然に申込みまして、鳥取市の方からまとめてという事でしたが、どのようにしたらいいか分からない、ダブらない様にそちらでやってくということ、鳥取市の方から分かった人だけには、お陰様で当選結果が来まして、また今度は、きちっとした物が来るって書いてあるんですけど、荒天というか天候が悪い時の人数というのは作ってありますか？ 割合がどれくらいになるか？ 当選した人の一般招待者のどの程度か。荒天の事まで考えなくても良いのかも知れませんが。招待者の人数はぱっぱと書いてあるのですが、荒天の場合、一般招待者というのは、どのくらいの割合で参加出来るのか？

田中課長補佐

荒天の時の回答を申し上げます。相当荒天の場合は、会場がご存じの通り、米子コンベンションセンターの多目的ホールになるんですけども、その前に大変申し訳ございませんが、一般参加者で当選になった人につきましては、会場内にどうしても多目的ホールが狭いものですから、ご参加いただけない形に整理していたと思います。今、実施計画の中の。

井関委員

多分ゼロかなあと思っていたんですが。

田中課長補佐

実施計画案の 81 ページをご覧くださいませでしょうか？そこに荒天の場合の参加者一覧を書いてございまして、あいにく荒天の場合は、一般参加者の方はご参加いただけないという事になります。

井関委員

分かりました。植樹会場がゼロになってその後は、誰が植樹をするか？

田中課長補佐

荒天の場合はたぶん、一般招待者の方々が花回廊に来ていただく前に、会場が荒天になると決定されると思いますので、たぶん一般招待者の方々は朝、早朝の手前でもう、「今日はお越しいただけませんよ」という事になるのではないかなと思っています。弁当を配布するのは、通常の場合ですと花回廊に着いて、セレモニーが済んでからお弁当を配布するんですけれども、花回廊にまで、多分来ていただけない形になりますので、お弁当の配布も。

濱本課長補佐

植樹行事ですか？植樹の方？

井関委員

植樹行事。

濱本課長補佐

失礼致しました。

大北課長

県の植樹祭で荒天会場になった事がありまして、その時は後日県の職員やボランティアで植えていったという事がありました。

西山部長

荒天の事は考えないようにするという事もありますが、皆さんがおっしゃった様に、植樹の木とか準備してありますので、先程通常の場合に式典が済んだ後に自由植樹の期間を設けるという風な仕組みを通常の場合考えていますけれども、そういう様な事もいいのかもしれないですね。

岸田参事監

荒天会場を使っただけという植樹祭は、これまで無いという事ですので、とにかくよほど台風とか、ああいふ嵐が来ない限りは、もう決行してしまうという事が大前提です。ただ、これまで行った県でも植樹だけしなかったという所もあるようですので、その県は県職員が、後日植えたという事があったようです。そこになってみてですけども、県職員のみならず、やはり県民の皆さん、美鳥の大使で参加していただいて、盛り上げてもらっていますので、出来るだけ県民の皆さんと一緒に、後日でも植樹が出来る様なそういう取り組みにしていきたいなあと、でもそうならないことを願っております。

達磨委員

ちょっと確認ですけども、自由植樹とはどれくらいの期間？

池内課長補佐

一週間ぐらいかなあと考えております。ちょっとまだ、どういう形でやるかというのは検討中でございますけれども、例えばイメージ的には6月の頭から1週間ぐらいというイメージでしょうか。

達磨委員

なんか余計な事を言うようですけども、せっかくグリーンウェイブ、ウェイブが起きなくちゃいけない。それを例えば、そういう事になったら県の職員で、その発想はいかなもんかなあ？ 私は思います。実は今日本当に、最後にお話しておこうかなと思ってた事なんですけれども、みどりの少年団という組織が鳥取県の場合、小学校だけですよ、中学校にはありませんが、ある程度活動しているところと職員も存在を知らないというようなところと様々。私、ずっとみどりの少年団の活動に関しては、県の緑推の方が、緑化推進委員会の方が、色な広報といいますか、「交流会をやるよ」とか、県の植樹祭の案内、緑推の方から来ていた。このところ、この植樹祭がある関係でそういう形になっていない。学校の担当者としては、正直言って動きが分からないと、みどりの少年団というのは、どういう風になって思っている学校が、結構あるようでして、実は本当に色んな事で問い合わせが私の所に来ます。やはり、例えばこういった時、その参加は出来ないけれども、ある程度期間を取って会場に植樹出来る様な事を、やはり県内のそのみどりの少年団とか出来るだけ連絡していただきたいなあと思います。実際この植樹祭にあたっては、その三町のみどりの少年団、その他小学生の出番を作っていたらいいですね。その他に関して、何か関わりたいというその少年団はあると思います。例えば、鳥取県内のみどりの少年団の団旗を全部集めてざっとう、出していただくとか、何かこれから先の事を考えると、植樹祭から後の活動の事を考えると、何かそういう形で関わる、そういうのが出来ないのかな？ ですから、天候が悪くても植樹が出来なかったという場合に県の職員ではなく、そうなるかもしれませんけれども、出来るだけ色んな方にも来ていただく、その中に(みどりの少年団)の子供達、米子辺りはシャトルバスも出ているので、米子駅から。行きやすいんですよね。逆に考えると。そうすると親子ですとか、地元の少年団なんか動きやすい、色んな計画が立てられるかなと思っています。ちょっとその辺、また検討してみてください。よろしくをお願いします。

西山部長

みどりの少年団に対しての関わりやすい様な情報提供、それから植樹祭後の活動の応援という、また県の緑推の方にもこういう要望があったことを伝えます。その他何かございますでしょうか？

森下会長

応募者が多数あってという事で、喜んでいるという事があるんですけど、かなりの人が抽選から漏れて、落選されてしまうという事になるだろうと思っているんですね。我々も「応募して下さい、応募して下さい」という事をずっと、PRもしてきたし、それもあるんですけども、かなりの応募の中から落選となると、落選という言葉はおかしいけども、何とかならんのでしょうか？ どうやって選考されますかな？

田中課長補佐

これは、コンピュータのシステムと言いますか、基本的には無作為の抽選が1つ。

森下会長

早くから応募したというのは関係無しに？締切りまでの分ですか？

田中課長補佐

はい。

森下会長

例えば、800名を1000名に伸ばし1500名とか、何とかならんですかね？これは。ものすごい方々が落選されたんですがな。ならんものかな？予算の関係があるのか、会場の都合があるのか、よう分からんですけども、3分の1くらいしか、統計すると色々合わせると、3分の1くらいしか招待できんですがな。

岸田参事監

県外の招待者の方々が、来れない方の枠が余りますので、そういうのも流用させてもらいたいと思いますが、やはり会場のキャパがございます。余りこう詰めすぎると今度は、人の動き、ハンドリング等、中々式典の運営上、大変都合支障来す事もありまして、これからこう200、300人という単位では中々難しいとは思いますが、なるべく余った枠は、この一般参加者を増加させていくという方向で考えています。

森下会長

なんとかですね、せつかくの機会だし、そういった気持ちになっている方が沢山おられると思うんですわ、何とかしていただきたいと思いますので。

濱田委員

すみません。ちょっと、その事も含めてよろしいですか？関連した。これも、希望になってしまうんですけど今、達磨校長や森下会長さんがおっしゃった事に通じるんですけども、やっぱりなるべく関係者の方々が、ご苦勞になさって無事に開催して終わることが何よりも成功を決める事だと思うので、そのことに関して、やっぱりその行った方はその事が体感出来たり、分かったりという事はあるんですけども、広い意味での鳥取県としての全国植樹祭というのは、やはり来られなかった方とかも含めて、どういう大会であったとか、今後はどういう風にされていくのかなとか、多くの県民の方に知っていただく事が大切かなと思うので、落選の方に限ってという事ではなくていいんですが、もう少し今までの苦勞も含めて、前回ちらっと申し上げたかもしれないけど、大会が出来るまでと、大会の期間中の事と、今後の事がちょっと歴史的に分かる様な物が何かこう配布されるのか、もらえるのか、分からないんですけども、そういう手立てがあると、実際50年前の植樹祭なんか、私達はよっぽど勉強しないと分からないんですけども、次の大会には生きていない方もいっぱいいらっしゃるかも知れないし、繋げていくっていう事もあるから、出来たらそういった何かの印になるような物が何かないかなあと、予算の事もあるでしょうし、大変な事ですので、何かまとめるという事は、本当希望になりますけど、そういった何か手立てがあればいいなあという風に、お2人のご意見を聞いてから思いました。

西山部長

濱田さんがおっしゃったのは、参加されなかった方でも、大会がよく分かったりする様な例えば、小冊子を沢山作って、それがもらえるような感じですかね。

濱田委員

それにやっぱり、大会すごく長い期間の準備があって大変な苦労があるんですけども、そんなちょっとメイキング的なフィルムなのか、DVDなのか冊子なのか分からないんですけども、大変な膨大な資料をまとめるという事は出来ないで、なんらかが分かる様な物とか、「これだけ大変な大会」なんだという事が分かるというか、それが知れるものが県民の人にあつたらいいなあと思います。

西山部長

事務局の方はどうでしょうか？ 大会誌にまとめるようになっているのかどうか？

梅田参事

今年の元旦の日に、新聞各紙が正月特集号という形で沢山盛り込んでありますけれども、中には今年「とっとりグリーンウェイブ」の年だという折り込みがあつて、見開きで全国植樹祭についても取材でもって、色々書いていただきました。ああいう風な全戸配布に近いような新聞紙と契約を致しまして、大会当日には同じ様に全国植樹祭記念号という形で、折り込みでもって、そこにはおっしゃる様な歴史、第16回大会の歴史とかも含めて県民の多くの方の目に触れるような形にしたいなあと思いますし、それから私共、事務局のホームページでもって色々な情報を流させていただいておりますが、その中には歴史とか意義に関する事も今、十分ではないかもしれませんが、力を入れてましてメイキングに近いような物が見ただけのような仕掛けをしていきたいなあと思います。

記念誌ですね。終わりましたら記念誌という形で、第16回大会の記念誌も図書館等にすべてあるんですが、ちょっとした想定外の物を作りまして、これも配布するんですね。多くの方に配布させてもらったり、それから図書館に備え付けたりとかという形で、まとめをさせていただこうと思っております。

岸田参事監

記念誌の内容も、エッセンスを植樹祭課のホームページで、閲覧出来る様な事を検討していきたい。それも、映像を含めてですね。

西山部長

よろしいでしょうか？

中野委員

その他なんですけど。米子駅前に、カウントダウンのボードが出来て、PRされている事はすごく盛り上げる意味で、すごく素敵だなあと思います。それで、先週会場である花回廊に行ったんですけども、実際の会場が何もPRが出来ていないといいますか。今、前に飾ってあるのぼり旗が、数本立てかけてあるだけという様な状況でした。それでこの開催日のある5月っていうのは、花回廊さんは、すごくお客さんが多い頃で、出来ましたら本当に、もう早急に花回廊のチケットの販売、売り場のあたりで「ここが、会場なんだ」みた

いな、是非とも PR の何か仕掛けをしていただけた方が、いいのではないのかなと思います。というのが、そうでなくても、この参加者がとても多い中で、一般参加者の方の駐車場というのは、限られているじゃないですか？例えば各種団体、老人クラブさんであったり、婦人会さんであったり、色々な団体さんが来られて、それで来たはいいけど、「駐車場が無かったわ」と言っただけで帰られる事も想定内かなと思うんですけどね。やっぱり、一般の方にご迷惑かけない為にも、ここの花回廊の会場での PR を結構していただいて、例えば 2 月なんかランまつりとかがありますので、そのランまつりを見た方が「また、春来たいわ」という時に 5 月 26 日は、全国植樹祭があるんだというような認識を植え付けて帰られたら、5 月に行きたいけど 26 日は避けようとかか。なんか色々計画も立てられるのではないのかなというような事も思っておりますので、是非とも花回廊内での PR も充実させていただけたらいいんじゃないかなと思っております。

西山部長

良い意見をいただきました。何か残日計を花回廊にとって、いう話もありましたよね。その事も含めて。

濱本課長補佐

ありがとうございます。おっしゃる通りで、取り組んでみたいと思いますが、残日計も花回廊さんと相談して残日計の方も、これはさっきも言った通り、何日前特有の、つかんでやりたいと思っておりますので、残日計を付けたいと思っております。すぐというわけには、いきませんが、花回廊では残日計の設置ですとか、それから今、山口県からうちの山口県知事から平井知事が受け取ってきた木製地球儀というのが、これが良く大会旗の代わりに各県をリレーして、全国植樹祭のシンボルみたいな、木製の地球儀というのがあるんですけども、それを最後に花回廊に持って行って、開催前まではあそこで盛り上げるというような事を描いていますけど今、おっしゃった早めにという事も考えてみて、花回廊さんとも相談して、おっしゃる通り 5 月 26 日、または 25 日も花回廊の方に来れるお客様も考えないといけませんし、花回廊さんと良く話をして今、幹事さんに言われたことを良く相談してみたいと思っておりますので、また取り組んでみたいと思います。

衣笠委員

良いご意見をいただきましたので、もちろん県の方もですが、私共の方も出来る限りのことをもう一度考えてみたいと思います。

達磨委員

今のところ、すごく気になったんですが、私さっき色々な事で「すごく問い合わせがあった」って言いましたけれども、実はその事について、かなり多くの方が植樹祭は花回廊という、あの回廊を皆がイメージしていて、「あの中で行われるんじゃない」という事を知った途端、「じゃあ行けるんだあ」というのがあるんです。かなりの方が植樹祭の式典には行けないけど、花回廊には行けると、多くの方が思っておられるという事をお伝えしておきます。皆さん、きちっとは把握はしておられなくて、「花回廊である」という事はかな

りの人が知っているけれども、式典会場は外だとか、そういう事を聞いた途端、「その日、花回廊には行けるんだ」という事をかなりの方が、描いておられまして、この辺本当にしつかり方法を知っておかないと、式典に参加したいとか、どうかじゃなくて勘違い、そういう方がそうとうおられるという事を承知して置いて下さい。

西山部長

色々、いい意見をいただきました。ここにおりますメンバーは、みんなそうやって誤解が無いですけども、それが普通のような感じがしている所があって、その辺が注意点です。

梅田参事

特に米子駅前からも、無料シャトルバスも出ている、「じゃあ、行ける」という思いも。シャトルバスの中にも掲示を是非させていただいて周知を図りたいですね。

西山部長

そうしましたら、時間が予定時間になりましたので、最後に今後のスケジュールを事務局で説明してください。

近藤課長補佐

それでは、私の方からレジュメの1番最後に資料5を添付しております。今年度も1月になりまして、おおかた終わりますけども、1月中旬今日ですけども、大会計画策定の幹事会を開催して、実施計画(案)を策定という事になっておりますけども、今度1月29日に実行委員会総会を開催する予定にしておりまして、本日審議いただきました実施計画の最終案をこちらの方で説明を致しまして、県案としての策定という段取りを進めていきたいという風に思います。県案につきましては、2月上旬、あるいは中旬頃に開催予定の共催相手であります国土緑化推進機構の特別委員会というのがございまして、こちらの方で大会の内容を説明して実施の計画、全体の承認を得たいという風に思っております。

国の方の動きとしましては、3月中には宮内庁にお越しいただきまして、現地調査を開始したり、あるいは4月には衆議院議長に対する説明、5月直前になりますと、再度宮内庁の現地調査を経まして、本番当日を迎えたいという風に思います。それから、式典音楽であるとか、あるいはアトラクションであるとか、そういった事はすでに練習が始まっております。定期的に合同練習等を重ねながら万全の準備を進めていきたいと考えております。それから、あと実施計画が立てられまして1月下旬あるいは、2月上旬頃に実施本部が立ち上がりますけれども、いよいよ実施計画よりさらに、詳細なマニュアル、これの作成に順次取りかかっていきまして、4月に予定されております式典リハーサル、総合リハーサルに備えてスタッフ体制を整えていきたいという風に考えております。それから現在、両陛下ご臨席いただきますお野立所につきまして建設中ございまして、3月末を目途に今、進めておりますけれども4月中旬頃になるかなという事で、今そちらの方で記載をさせていただいております。だいたいのスケジュールとしては、以上でございます。

西山部長

何かございますでしょうか？ なければ、議事につきましては終了と致しまして、進行を事務局の方にお返し致します。

梅田参事

ありがとうございました。限られた時間の中での審議でございまして、本日の資料をお持ち帰りいただきまして、また後程お気付きの点、それから今日もあの「街でこういう事を言われている」とか、県民の方々の声を伝えていただきましたが、そういった質問、ご意見ございましたら、いつでも結構でございますので、事務局の方にご連絡をお願いしたいと思います。今回をもちまして、この大会計画策定の幹事会というのは、最後の会という事でございます。この後、総会で特にございませんでしたら、今日の会議というのが、最後という感じがございます。皆様方には長期にわたりまして、ご審議をいただきまして、ありがとうございました。以上をもちまして、「第 64 回全国植樹祭鳥取県実行委員会の計画策定幹事会第 7 回」を閉会したいと思います。皆様方にはご熱心にご討議していただきまして、ありがとうございました。気をつけてお帰り下さい。ありがとうございました。

幹事・事務局全員

ありがとうございました。